


# 4K メモリープレイヤー

## 取扱説明書

### PMW-PZ1

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

**SxS** **XAVC** **HDMI**

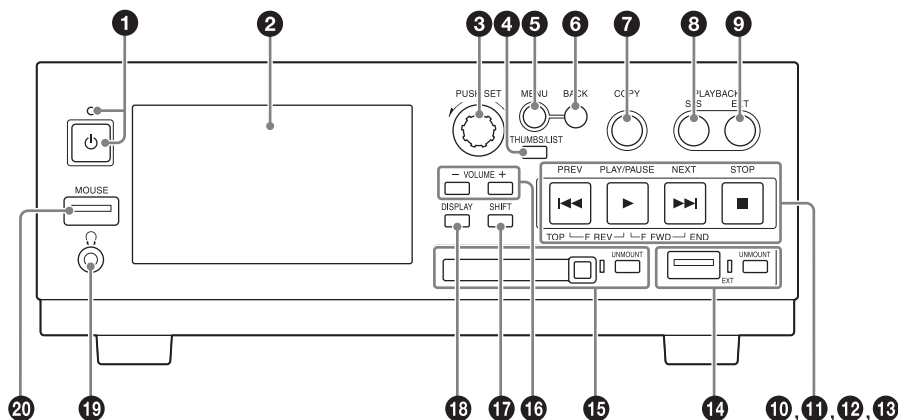
# 目次

各部の名称と働き .....	3	使用上のご注意 .....	20
前面 .....	3	メッセージとアイコン一覧 .....	21
後面 .....	4	警告メッセージ .....	21
接続例 .....	5	アイコンについて .....	21
4K 対応モニターとの接続例 .....	5	仕様 .....	21
4K 対応プロジェクターとの接続例 .....	5	付録 .....	22
準備 .....	6	推奨メディアについて (XQD メモリーカード) .....	22
再生可能フォーマット .....	6	再生可能フォーマット .....	23
SxS メモリーカードについて .....	6	ライセンス表記について .....	24
XQD メモリーカードについて .....	6	MPEG-4 Visual Patent Portfolio License について .....	24
外部ストレージについて .....	7	MPEG-2 Video Patent Portfolio License について .....	24
電源 .....	7	EULA (End User License Agreement) について .....	24
初めて使用するとき .....	8	ファイルの再生 .....	8
ファイルの再生 .....	8	リスト画面またはサムネイル画面を表示する .....	8
リスト画面またはサムネイル画面を表示する .....	8	リスト画面の表示と操作 .....	8
リスト画面の表示と操作 .....	8	サムネイル画面の表示と操作 .....	9
サムネイル画面の表示と操作 .....	9	ファイル再生時の表示と操作 .....	9
ファイル再生時の表示と操作 .....	9	マウスで操作する .....	10
マウスで操作する .....	10	特殊な再生 .....	11
特殊な再生 .....	11	コマ送り再生 .....	11
コマ送り再生 .....	11	シームレス再生 .....	11
シームレス再生 .....	11	プレイリスト再生 .....	12
プレイリスト再生 .....	12	プレイリストを作成する .....	12
プレイリストを作成する .....	12	プレイリストの順に再生する .....	12
プレイリストの順に再生する .....	12	IN 点 -OUT 点区間再生 .....	12
IN 点 -OUT 点区間再生 .....	12	IN 点と OUT 点を設定する .....	12
IN 点と OUT 点を設定する .....	12	IN 点 -OUT 点の間だけを再生する .....	13
IN 点 -OUT 点の間だけを再生する .....	13	ファイルのコピー .....	13
ファイルのコピー .....	13	ファイルを一括してコピーする .....	13
ファイルを一括してコピーする .....	13	ファイルを選択してコピーする .....	14
ファイルを選択してコピーする .....	14	メニュー .....	15
メニュー .....	15	メニューの基本操作 .....	15
メニューの基本操作 .....	15	メニューの項目と設定値 .....	15
メニューの項目と設定値 .....	15	MAINT メニュー .....	17
MAINT メニュー .....	17	ネットワーク機能 .....	18
ネットワーク機能 .....	18	接続する .....	18
接続する .....	18	ネットワークを設定する .....	18
ネットワークを設定する .....	18	ブラウザから本機を操作する .....	18
ブラウザから本機を操作する .....	18	ネットワークパスワードを変更する .....	19
ネットワークパスワードを変更する .....	19	その他の機能 .....	19
その他の機能 .....	19	PDW-U2 のファイルプレビュー .....	19
PDW-U2 のファイルプレビュー .....	19	ODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280U へのファイル	
ODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280U へのファイル		コピー .....	19
コピー .....	19	ダウンコンバート機能 .....	19
ダウンコンバート機能 .....	19	XDCAM Station でリニア編集した SSD の再生 .....	20
XDCAM Station でリニア編集した SSD の再生 .....	20		

# 各部の名称と働き

◆ それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、( ) 内のページをご覧ください。

## 前面



### 1 電源ボタンと電源インジケータ (7 ページ)

### 2 液晶ディスプレイ (960 × 540 画素)

リスト画面 (8ページ)  
サムネイル画面 (9ページ)  
ファイル再生画面 (9ページ)  
コピー画面 (13ページ)  
メニュー画面 (15ページ)

### ご注意

本機を操作しないままで一定の時間 (約 4 時間) が経過すると、スクリーンセーバーが作動して画面が暗くなります。操作を再開したり、マウスを接続すると元の明るさに戻ります。

### 3 PUSH SET ダイアル

ファイルやメニュー項目の選択などに使用します。一般的な操作として、ダイアルを左右に回して選択し、押し込んで確定します。

### 4 THUMBS/LIST ボタン

ディスプレイの表示をリスト画面またはサムネイル画面に切り換えます。

### 5 MENU ボタン

ディスプレイの表示をメニュー画面とリスト/サムネイル画面との間で切り換えます。

### 6 BACK ボタン

画面の表示を1つ前に戻したいときに押します。リスト画面/サムネイル画面では、1つ上の階層に戻ります。

### 7 COPY ボタン (13 ページ)

ディスプレイの表示をコピー画面に切り換えます。コピー画面で押すとリスト画面またはサムネイル画面になります。

### 8 PLAYBACK SxS ボタン

SxSメモリーカードにアクセスし、ファイルリストを表示します。

### 9 PLAYBACK EXT ボタン

外部ストレージにアクセスし、ファイルリストを表示します。

### 10 PREV ボタン / 11 PLAY/PAUSE ボタン / 12 NEXT ボタン / 13 STOP ボタン

リスト画面/サムネイル画面の操作 (9ページ)  
ファイル再生時の操作 (10ページ)

### 14 EXT (外部ストレージ用) 端子 (USB3.0) と UNMOUNT ボタン、マウントインジケータ (7 ページ)

### 15 SxS メモリーカード用スロットと UNMOUNT ボタン、マウントインジケータ (6 ページ)

### 16 VOLUME (- / +) ボタン

前面のヘッドホン用端子から出力される音声の音量を調節します。

### 17 SHIFT ボタン

ファイル再生時の操作などに使用します。(10ページ)

### 18 DISPLAY ボタン

ファイル再生時、液晶ディスプレイに文字情報 (ファイル名や再生ステータスなど) を重ねるときに押します。  
また、メニューでの設定により、本機の後面の各端子 (3G/HD SDI MONITOR OUT、4K/HD OUT) に接続したモニターやプロジェクターに文字情報を重ねることもできます。(15ページ)

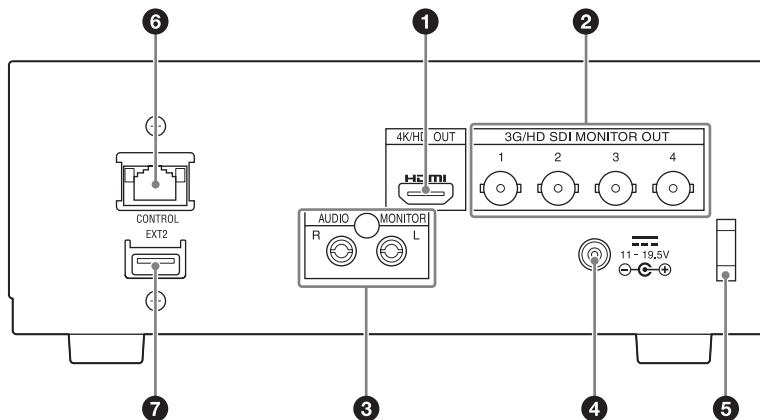
### 19 ヘッドホン用端子 (ステレオミニジャック)

+1倍速再生時に音をモニターすることができます。それ以外のときは消音されます。(ストレージの転送速度については7ページを参照してください。)

### 20 MOUSE 端子 (USB2.0)

USBマウスを接続します。(10ページ)

## 後面



### 1 4K/HD OUT 端子 (HDMI 19 ピン)

本機で再生している映像と音声を4KモニターなどのHDMI機器に出力します。ファイル再生中でないときは、本機の液晶ディスプレイと同じ画面を出力します。(ストレージの転送速度については7ページを参照してください。)

### 2 3G/HD SDI MONITOR OUT 1 ~ 4 端子 (BNC 型)

本機で再生している映像と音声を4KモニターなどのSDI機器に出力します。

3G-SDI、HD SDIの信号規格に対応しています。

ファイル再生中でないときは、本機の液晶ディスプレイと同じ画面を出力します。(ストレージの転送速度については7ページを参照してください。)

### 3 AUDIO MONITOR 端子 (ピンジャック)

本機で再生している音声が出力されます。(ストレージの転送速度については7ページを参照してください。)

### 4 DC 電源入力用端子 (EIAJ 準拠)

付属のACアダプターまたはAC-DN10 (別売り) を介して、AC電源に接続します。(7ページ)

### ご注意

AC アダプターを外すときは、前面の電源ボタンを押して本機の電源を切り (7ページ)、電源インジケータが赤になってから行ってください。

### 5 ケーブルクランプ

DC電源入力用端子に接続したケーブルを固定します。

### 6 CONTROL 端子

ネットワーク機能に使用します。(18ページ)

### 7 EXT2 端子

後面の外部ストレージ接続に使用します。(7ページ)

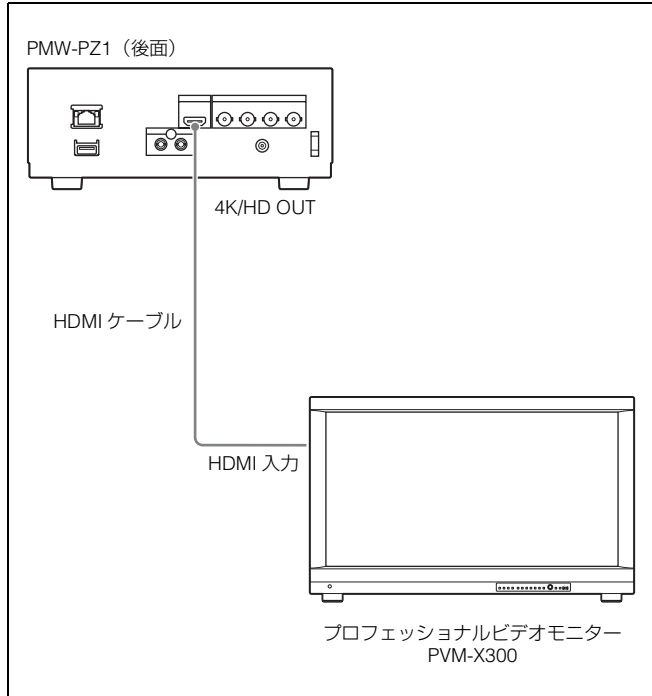
本機前面のEXT端子と同等に使用できます。

# 接続例

## 4K 対応モニターとの接続例

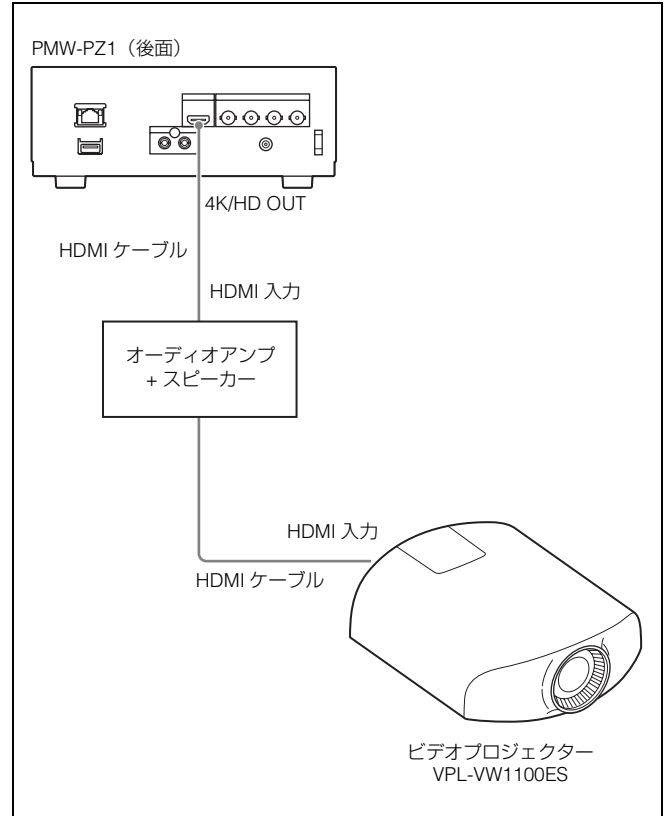
◆ 接続先について詳しくは、モニターの取扱説明書をご覧ください。

### HDMI接続

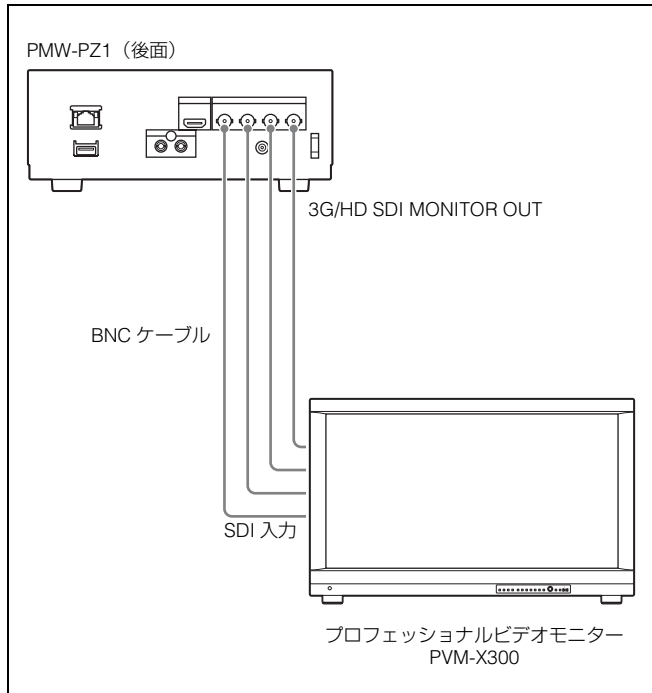


## 4K 対応プロジェクターとの接続例

◆ 接続先について詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。



### SDI接続



# 準備

## 再生可能フォーマット

本機では、下記のファイルシステムとフォーマットに対応しています。

### ファイルシステム

- SxS メモリーカード、XQD メモリーカード<sup>1)</sup>：exFAT、SxS UDF、FAT32
- 外部ストレージ：exFAT、NTFS

1) XQD ExpressCard アダプター QDA-EX1 使用時

### ご注意

XQD ExpressCard アダプターは、正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入すると、カードスロットを破損するおそれがあります。

### ビデオフォーマット

「再生可能フォーマット」(23ページ)をご覧ください。再生するフォルダには再生可能フォーマット以外の画像ファイルを置かないでください。

### オーディオフォーマット

本機で再生可能なオーディオはPCMのみです。AACなどはミューティングされます。リスト画面では、ファイルごとにオーディオコーデックの種類が表示されます。

## SxS メモリーカードについて

下記のソニー製SxSメモリーカードをご使用ください。それ以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

- SxS PRO+  
SBP-256D/E、SBP-128B/C/D/E、SBP-64B/C/D/E
- SxS PRO  
SBP-64A、SBP-32 (HD)
- SxS-1  
SBS-128G1B、SBS-64G1A/B、SBS-32G1A/B (HD)

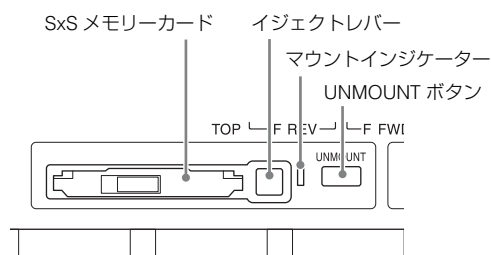
これらのカードは、ExpressCard 規格に準拠したメモリーカードです。

別売りのアダプターを使用することにより、XQDカードの使用も可能になります。

- ◆ SxS メモリーカードの使用方法や使用上のご注意について詳しくは、SxS メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

## SxSメモリーカードを入れる/取り出す

### SxSメモリーカードを入れる (向きに注意)



SxSメモリーカードを入れて、本機が正しく認識すると、マウントインジケーターが点灯します。

### SxSメモリーカードを取り出す

- 1 SxSメモリーカードスロット右横のUNMOUNTボタンを押す。  
アンマウント処理中は、マウントインジケーターが点滅します。
- 2 マウントインジケーターが消灯したことを確認してから、SxSメモリーカードスロットのイジェクトレバーを押して取り出す。

### ご注意

- SxS メモリーカードを入れる (または取り出す) 操作は、本機の起動が完了してから行ってください。
- マウントインジケーターの点灯中に SxS メモリーカードを取り外すと、データが破損するおそれがあります。コピー中など、カードにアクセス中は取り外さないでください。
- 本機では、SxS メモリーカードのフォーマットやエラーの修復はできません。
- イジェクトレバーを出したまま本機を移動しないでください。

## XQD メモリーカードについて

XQD ExpressCardアダプター QDA-EX1 (別売り) を使用することで、下記のXQDメモリーカードに収録されているファイルの本機で再生することができます。

- XQD G/XQD S (EB Stream)
- XQD N

- ◆ 記録フォーマットと推奨メディアについて詳しくは、「推奨メディアについて (XQD メモリーカード)」(22 ページ) をご覧ください。

### ご注意

XQD ExpressCard アダプターは、正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入すると、カードスロットを破損するおそれがあります。

## 外部ストレージについて

フォルダやファイル名に2バイト文字（漢字など）や特殊記号が含まれている場合は、正常なアクセスができません。

### ファイルの再生

本機前面のEXT端子にUSBメモリーやSSD/HDDなどの外部ストレージを接続し、メディアに記録されたファイルを再生することができます。（転送速度は外部ストレージに依存し、不定期に変動します。）

#### ご注意

- 接続してもマウントインジケータが点灯しない場合は、接続をやり直してください。
- 本機に接続し動作した外部ストレージを他の機材に接続する際は、その機材の対応ファイルシステムをご確認の上、接続してください。

### ファイルのコピー

SxSメモリーカードから外部ストレージにファイルをコピーすることができます。

#### ご注意

- 以下のような場合は、正常なアクセスができません。
- 複数の外部ストレージを接続している場合
  - 外部ストレージ上に複数のパーティションがある場合

### 外部ストレージの安全な取り外し

EXT端子右側のUNMOUNTボタンを押し、マウントインジケータが消灯したことを確認してから、メディアを取り外してください。

#### ご注意

- マウントインジケータが点灯中に外部ストレージを取り外すと、データが破損するおそれがあります。コピー中など、ストレージにアクセス中は取り外さないでください。
- 本機では、外部ストレージのフォーマットやエラーの修復はできません。
- ストレージの転送速度が遅いと、スムーズに再生されない場合があります。ストレージの転送速度は変動します。
- 外部ストレージがバスパワーで900 mA以上の電流を消費すると、正常に動作しない場合があります。

### 後面の外部ストレージ接続について

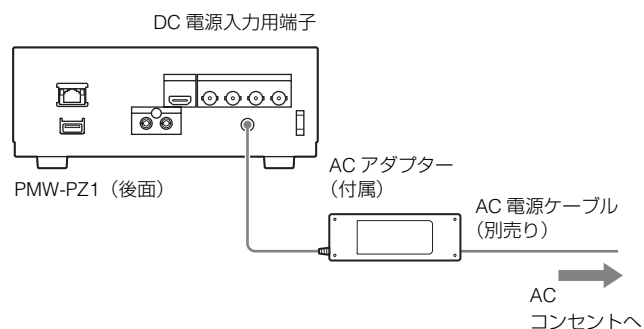
本機後面のEXT2端子は、前面のEXT端子と同等に使用できます。

- 使用中はインジケータが点灯します。
- 外部ストレージを外すときは、前面のUNMOUNTボタンを押してください。
- EXT端子とEXT2端子は、同時に使用できません。

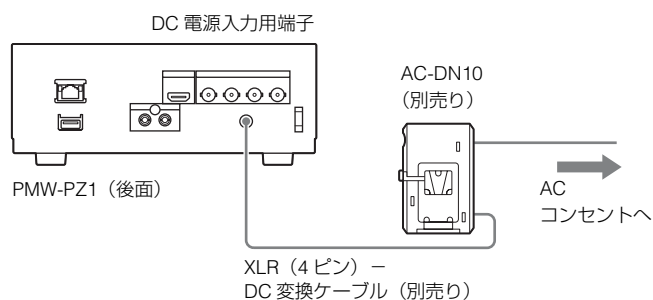
## 電源

### 電源に接続する

#### 付属のACアダプターを使う



#### 別売りのAC-DN10を使う



### 電源を入れる

電源インジケータが赤く点灯した状態で、電源ボタンを押します。

電源インジケータが緑色に点灯し、本機が起動します。（起動完了まで約2分間を要します。）

起動完了すると、リスト画面（8ページ）またはサムネイル画面（9ページ）が表示されます。

### 電源を切る

1 ファイルの再生を停止させ、本機前面のUNMOUNTボタンを押す。

2 電源ボタンを約1秒間押し、電源インジケータが緑色で点滅したら指を離す。

電源が切れると、電源インジケータが赤で点灯します。

#### ご注意

電源ボタンを長押し（約5秒間）すると、本機が強制終了します。この場合、本機に内蔵のSSDが影響を受けるおそれがあるため、緊急時以外は強制終了をしないでください。

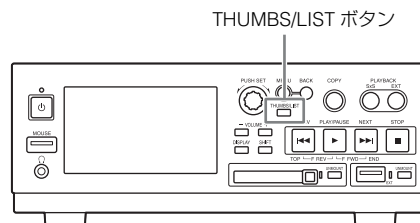
## 初めて使用するときは

下記のメニュー項目（17ページ参照）を設定してください。

- TIME ZONE
- LOCAL DATE
- LOCAL TIME

## ファイルの再生

### リスト画面またはサムネイル画面を表示する



THUMBS/LISTボタンを押して、リスト画面またはサムネイル画面を表示させます。

### リスト画面の表示と操作

#### リスト画面の表示



上記はSxSメモリーカードのリストを例にしていますが、外部ストレージの場合は①がEXTと表示されます、それ以外は下記を参考にしてください。

#### ① 再生対象メディア（SxSまたはEXT）

#### ② ボリュームラベル

#### ③ メディア容量（空き領域／容量）

#### ④ ファイル読み込み状況

リスト画面の表示時に、表示される場合があります。ファイル読み込み中は再生を開始することができません。

#### ⑤ 各種アイコン

メニュー項目PLAY MODEの設定状態などがアイコンで表示されます。（21ページ）



## 6 警告マーク (21 ページ)

### 7 電源電圧表示

電源電圧が18.0 V未満で表示されます。また、メニュー項目DC IN VOLTAGE ALARMで設定した値を下回ると、警告マークが表示されます。

### 8 フォルダパスとファイルシステム

現在表示しているフォルダおよび1つ上のフォルダ名が表示されます。

### 9 ファイルリスト

各ファイルのファイル名、記録フォーマット、データのサイズ、ファイル長、日付などが表示されます。また、本機で再生できないファイルの場合、サムネイル画像に再生不可を意味するアイコンが表示されます。

### 10 カレントファイルの情報

選択中ファイルの情報が表示されます。ファイル名、ファイル長、ファイル位置/ファイル総数、記録フォーマット、日付など。

## リスト画面の操作

目的	操作方法
ファイルを選択する	PUSH SET ダイヤルを回す。フォルダを選択した場合は、押し込むと下の階層が表示される。または PREV ボタン、NEXT ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"><li>SHIFT ボタンを押しながら PREV ボタンを押すと、カレントフォルダの先頭ファイルが選択される。</li><li>SHIFT ボタンを押しながら NEXT ボタンを押すと、カレントフォルダの最終ファイルが選択される。</li></ul>
選択したファイルを再生する	PLAY/PAUSE ボタンを押す。
選択したファイルを PAUSE 状態で開く	PUSH SET ダイヤルを押し込む。
フォルダ内の 1 つ上の階層を表示させる	BACK ボタンを押す。
サムネイル画面に切り換える	THUMBS/LIST ボタンを押す。
メニュー画面に切り換える	MENU ボタンを押す。(15 ページ参照)
SxS メモリーカードにアクセスする	PLAYBACK SxS ボタンを押す。
外部ストレージにアクセスする	PLAYBACK EXT ボタンを押す。
コピー画面に切り換える	COPY ボタンを押す。(13 ページ参照)
ファイルの情報を表示する	SHIFT ボタンを押しながら PUSH SET ダイヤルを回す。(横にスクロールする。)

## サムネイル画面の表示と操作

### サムネイル画面の表示

リスト画面で THUMBS/LIST ボタンを押すと、下図のようにファイルリストがサムネイルで表示されます。



### サムネイル画面の操作

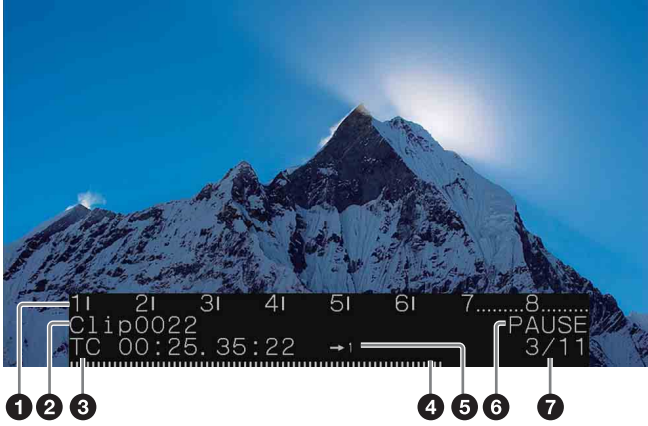
目的	操作方法
ファイルを選択する	PUSH SET ダイヤルを回す。フォルダを選択した場合は、押し込むと下の階層が表示される。または PREV ボタン、NEXT ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"><li>SHIFT ボタンを押しながら PREV ボタンを押すと、カレントフォルダの先頭ファイルが選択される。</li><li>SHIFT ボタンを押しながら NEXT ボタンを押すと、カレントフォルダの最終ファイルが選択される。</li></ul>
選択したファイルを再生する	PLAY/PAUSE ボタンを押す。
選択したファイルを PAUSE 状態で開く	PUSH SET ダイヤルを押し込む。
フォルダ内の 1 つ上の階層を表示させる	BACK ボタンを押す。
リスト画面に切り換える	THUMBS/LIST ボタンを押す。
メニュー画面に切り換える	MENU ボタンを押す。(15 ページ参照)
SxS メモリーカードにアクセスする	PLAYBACK SxS ボタンを押す。
外部ストレージにアクセスする	PLAYBACK EXT ボタンを押す。
コピー画面に切り換える	COPY ボタンを押す。(13 ページ参照)

## ファイル再生時の表示と操作

### ファイル再生時の表示

ファイル再生中は、本機の液晶ディスプレイおよび接続したモニターに、動画が表示されます。

前面の DISPLAY ボタンを押すと、下図のように文字情報が重ねて表示されます。



① オーディオレベルメーター / 警告メッセージ (3行表示時のみ)

② ファイル名

③ 再生タイムコード

④ 再生位置 (3行表示時にバーで表示)

MAINTメニューで設定します。(17ページ)

⑤ 各種アイコン (21ページ)

⑥ 再生ステータス (PLAY/PAUSE/F.FWD/F.REV)

⑦ 再生クリップ番号 / 電源電圧

再生中のクリップの番号と、現在のフォルダのクリップ数を表示します。

電源電圧が18.0V未満のとき、電源電圧を表示します。

## ファイル再生時の操作

目的	操作方法
再生／一時停止	PLAY/PAUSE ボタンを押す。
早送り (F.FWD) する (2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→64倍→128倍)	PLAY/PAUSE ボタンを押しながら NEXT ボタンを同時に押す。押すたびに再生速度が変わる。
早戻し (F.REV) する (1倍→2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→64倍→128倍)	PLAY/PAUSE ボタンを押しながら PREV ボタンを同時に押す。押すたびに戻り速度が変わる。
再生中ファイルの最終フレームに移動する	SHIFT ボタンを押しながら NEXT ボタンを押す。(ただし連続再生のときは最終ファイルの最終フレームに移動する。)
再生中ファイルの先頭フレームに移動する	SHIFT ボタンを押しながら PREV ボタンを押す。(ただし連続再生のときは先頭ファイルの先頭フレームに移動する。)
再生中ファイル先頭から再生する	PREV ボタンを押す。(ただし再生1秒以内なら前のファイルが再生される)
リスト上の前のファイルの先頭から再生する	再生1秒以内に PREV ボタンを押す。先頭ファイルなら常に先頭から再生される。
リスト上の次のファイルの先頭から再生する	NEXT ボタンを押す。末尾ファイルなら最終フレームに移動する。
再生を停止して元の画面に戻る	STOP ボタンを押す。

## ご注意

- 早送り / 早戻しのときの画像の見えかたは、ファイルフォーマットに依存します。
- ファイルサイズによっては再生開始に時間がかかる場合があります。
- Non Audio に設定された音声はミュートされます。
- カムコードなどで自動生成される XDROOT フォルダは特殊フォルダです。コンピュータ上で変更しないでください。
- XDROOT フォルダでは、フォルダ内のメタデータをもとに、リストが作成されます。それ以外のフォルダでは、各ファイルを読み込んでリストを作成するため、ファイル数によっては表示に時間がかかる場合があります。

## マウスで操作する

本機前面のMOUSE端子に接続したマウスから、本機を操作することができます。

マウスが認識されない場合は、接続をやり直してください。

## マウス用項目を表示する

リスト画面またはサムネイル画面で、メディア種別 (SxSまたはEXT) をクリックすると、以下のような項目が表示されます。



項目を選択することにより、以下のような操作ができます。

ただし、コピー中は操作できません。

- メディアの切り換え (SxS/EXT)
- サムネイル画面とリスト画面の切り換え
- コピー画面の表示
- メニュー画面の表示
- SxS メモリーカードの安全な取り外し
- 外部ストレージの安全な取り外し

## ファイル再生時の操作

目的	マウスでの操作
再生開始	リスト画面、サムネイル画面でファイルを左ボタンでダブルクリックする。
再生／一時停止	左ボタンをクリック (早送り / 早戻し中は一時停止し、もう一度クリックすると1倍速での再生に戻る)。押すたびに再生 / 一時停止が切り換わる。

目的	マウスでの操作
早送り (2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→64倍→128倍)	再生中に左ボタンを押したまま右へ動かす。押すたびに再生速度が変わる。
早戻し (1倍→2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→64倍→128倍)	再生中に左ボタンを押したまま左へ動かす。押すたびに戻り速度が変わる。
次のファイルの先頭へ移動	右ボタンを押したまま右へ動かす。
前のファイルの先頭へ移動	右ボタンを押したまま左へ動かす。
再生中のファイルの先頭へ移動	右ボタンを押したまま上へ動かす。
再生中のファイルの最後へ移動	右ボタンを押したまま下へ動かす。
再生を停止してファイルリスト画面に戻る	左ボタンをダブルクリックする。

### ご注意

- マウス操作と本体ボタン操作、ブラウザ操作を同時に行わないでください。
- マウス操作が表示に反映されてから次の操作を行ってください。
- マウスカーソルが消えたり画面が暗くなった場合はマウスを接続し直してください。

## 特殊な再生

### コマ送り再生

ファイル再生中および一時停止中 (PAUSE) に COPY ボタンを押すと、STILLモードになります。

PLAY/PAUSE ボタンと PREV ボタン、NEXT ボタンが点滅します。

- コマ送りするには、PREV ボタンまたは NEXT ボタンを押します。
- STILL モードを解除するには、COPY ボタン、PLAY/PAUSE ボタン、STOP ボタンのいずれかを押します。
- PLAY MODE が ALL の場合などでも、ファイルは連続してコマ送りされません。
- ファイルフォーマットによって、コマ送りに時間がかかりません。

### シームレス再生

同一フォーマットかつ同一周波数のファイルが連続して再生される時、ファイルの切り換わり部分がシームレスで再生されます。

### 制限事項

- 1秒以下のクリップはシームレス再生されません。
- クリップ終点付近のデータ量、記録状態、バッファリング状態によっては、シームレス再生できないことがあります。
- 再生開始位置または再生モード変更位置がクリップの再生終点から1秒以内などの場合、シームレス再生できないことがあります。
- IN 点 - OUT 点区間再生時、クリップのフォーマットによってはシームレス再生されません。
- ファイルの切り換わり直前での送り / 戻し操作が行われると、ファイルが切り換わってからファイル先頭へ移動する場合があります。
- PDW-U2 など、ファイルの切り換わりに時間のかかるメディアではシームレス再生できないことがあります。

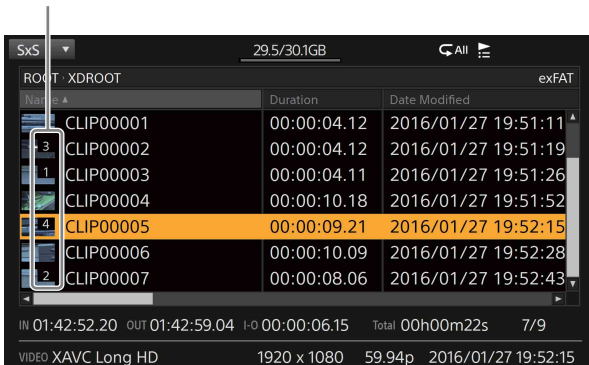
# プレイリスト再生

プレイリストを作成し、その順番に再生することができます。プレイリストの操作はサムネイル画面でも行えますが、以下ではリスト画面を例にします。

## プレイリストを作成する

- 1 メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」を「On」に設定する。
- 2 リスト画面でファイルを選択し、SHIFTボタンを押しながらPUSH SETダイヤルを押す。  
このファイルのサムネイルに再生順が数字で表示されます。また、リストの「Playlist」欄に再生順が表示されます。

再生順（数字）



プレイリストからファイルを削除するには、対象のファイルを選択し、再度SHIFTボタンを押しながらPUSH SETダイヤルを押します。

### ご注意

- プレイリストは、以下のようなときに消去されます。
- メモリーカードや外部ストレージが取り外された。
  - 本機の電源がオフになった。
  - メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」が「Off」に設定された。
  - メニューの「ALL RESET」が実行された。
  - メニューの「FILE LISTING」の設定値が変更された。

## プレイリストの順に再生する

- 1 メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」が「On」であることを確認する。
- 2 STOPボタンを押しながらPLAY/PAUSEボタンまたはPUSH SETダイヤル（停止状態から開始するとき）を押す。  
プレイリストの先頭から順番に再生されます。電源インジケータが青色で点灯します。（PLAY/PAUSEボタンだけを押し、通常再生（カーソル位置のファイルの再生）が行われます。）

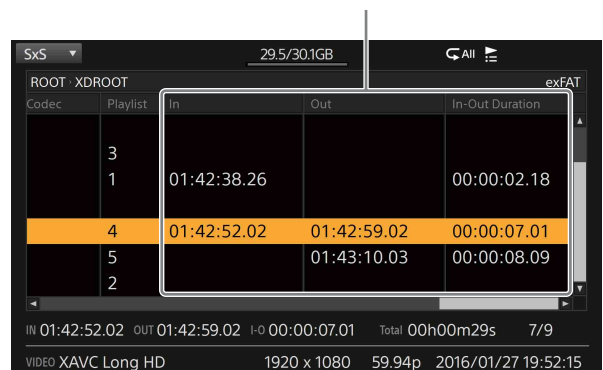
# IN点-OUT点区間再生

## IN点とOUT点を設定する

各ファイルごとに一对のIN点とOUT点を設定できます。

- 1 メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」を「On」に設定する。
- 2 設定を行うファイルを選択し、PLAY/PAUSEボタンで再生を開始する。
- 3 IN点に設定したい箇所で、SHIFTボタンを押しながらVOLUME-ボタンを押す。
- 4 OUT点に設定したい箇所で、SHIFTボタンを押しながらVOLUME+ボタンを押す。  
リスト画面上でIN点/OUT点の情報が表示されます。（リスト画での左右スクロールは、SHIFTボタンを押しながらPUSH SETダイヤルを回します。）

IN点、OUT点の表示



- IN点/OUT点を消去するには、SHIFTボタンを押しながらVOLUME（-または+）ボタンを長押しします。（消去の操作はリスト画面でも可能です。）
- OUT点が設定されていないファイルは、ファイルの終点がOUT点として扱われます。
- IN点が設定されていないファイルは、ファイルの先頭がIN点として扱われます。

### ご注意

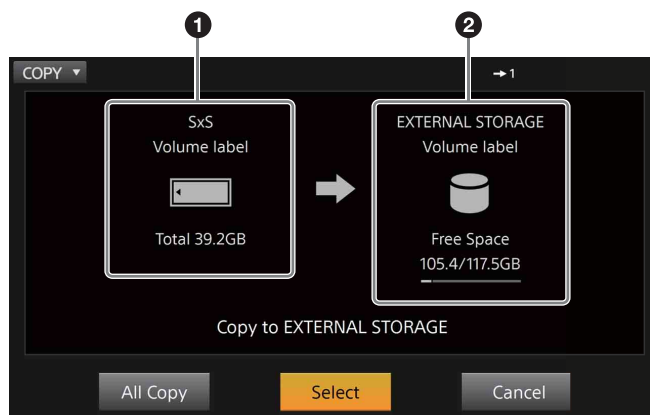
- IN点/OUT点は、以下のようなときに消去されます。
  - メモリーカードや外部ストレージが取り外された。
  - 本機の電源がオフになった。
  - メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」が「Off」に設定された。
  - メニューの「ALL RESET」が実行された。
  - メニューの「FILE LISTING」の設定値が変更された。
- IN点/OUT点が設定されているファイルで再度IN点/OUT点を設定すると、上書きされます。
- 設定されたOUT点よりうしろにIN点は設定できません。また、設定されたIN点より前にOUT点は設定できません。
- PLAY/PAUSEボタンを押して行う通常再生中のみ、IN点/OUT点の設定が可能です。

## IN点-OUT点の間だけを再生する

- 1 メニューの「PLAYLIST/IN-OUT」が「On」であることを確認する。
- 2 ファイルを選択し、STOPボタンを押しながらPLAY/PAUSEボタンまたはPUSH SETダイヤル（停止状態から開始するとき）を押す。  
IN点-OUT点の区間が再生されます。プレイリストが設定されている場合は、プレイリスト再生も行われます。  
電源インジケータが青色で点灯します。  
(PLAY/PAUSEボタンだけを押し、通常再生（カーソル位置のファイルの再生）が行われます。)

## ファイルのコピー

SxSメモリーカードのファイルを外部ストレージにコピーすることができます。  
コピー元（SxSメモリーカード）とコピー先（外部ストレージ）を装着してから前面のCOPYボタンを押すと、下記のような画面が表示されます。



① コピー元 SxS メモリーカードの情報

② コピー先外部ストレージの情報

## ファイルを一括してコピーする

コピーを実行すると外部ストレージのルートにフォルダが作成され、その中にSxSメモリーカード内のデータがすべてコピーされます。

- 1 PUSH SETダイヤルを回して「All Copy」を選択する。
- 2 ダイヤルを押し込む。  
コピーがはじまり、下記のような画面が表示されます。

### ご注意

- コピー先フォルダ内にログが生成されます。
- 外部ストレージが SxS メモリーカードと異なるファイルシステムの場合、コピーが完了しない場合があります。
- コピー開始前のサイズ表示は簡易チェックによるものです。コピー開始後にサイズが不足すると、コピーが中止される場合があります。
- コピー中は特に電源断やケーブルの抜けにご注意ください。電源が遮断されたりケーブルが抜けたりすると、外部ストレージの修復が必要になることがあります。万一そのような状態になった場合は、コンピューターに接続して修復を行ってください



- PDW-U2 をコピー先にすることはできません。
- 以下のようなときに、ファイル選択が解除されます。
  - フォルダを移動した。
  - PLAYBACK SxS ボタン、PLAYBACK EXT ボタンによって画面が移動した。
  - コピーが完了した。

## コピーのキャンセル

コピー実行中にキャンセルするには、PUSH SETダイヤルを回して「Cancel」を選択し、ダイヤルを押し込みます。さらに「OK」を選択するとコピーがキャンセルされます。

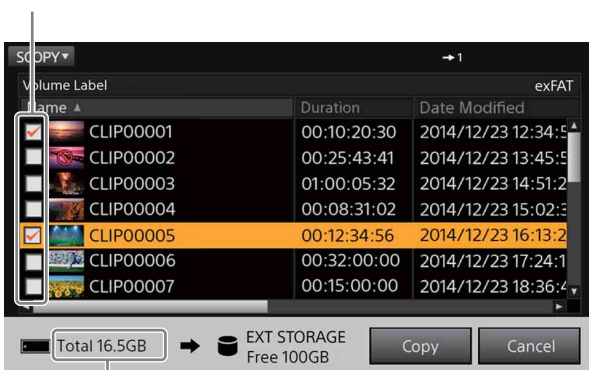
### ご注意

コピーをキャンセルすると、それまでにコピーされたファイル、フォルダは外部ストレージに残ります。

## ファイルを選択してコピーする

- 1 コピー画面で「Select」を選択する。コピー画面以外の場合はSHIFTボタンを押しながらCOPYボタンを押す。
- 2 コピーしたいファイルまたはフォルダを選び、SHIFT ボタンを押しながらSETボタンを押す。  
チェックマークが入ります。
- 3 手順2を繰り返し、コピーしたいファイルをすべて選択する。  
選択したファイルを合計したデータのサイズが左下に表示されます。

チェックマーク



合計のデータサイズ

- 4 「Copy」を選択する。

### ご注意

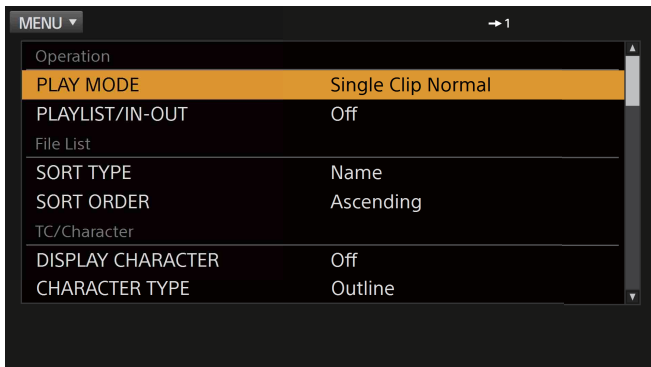
- フォルダを選択した場合、フォルダ内のすべてのファイル（通常リスト上に表示されないテキストファイルなどを含む）がコピー対象となります。



# メニュー

## メニューの基本操作

MENUボタンを押すと、下記のようなメニュー画面が表示されます。



**1** PUSH SETダイヤルを回してメニュー項目を選択し、ダイヤルを押し込んで決定する。設定値が表示されます。

**2** PUSH SETダイヤルを回して設定値を選択し、ダイヤルを押し込んで決定する。項目によっては、さらに「OK」や「Cancel」を選択する。設定しないときはBACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。

## メニューの項目と設定値

(太字/下線はデフォルト)

グループ	項目	内容	設定値 / 設定項目
Operation	PLAY MODE	再生時の連続再生のしかた	<b>Single Clip Normal</b> : 1つのファイルを再生し、再生が終わったら最終フレームで停止する。 Single Clip Repeat : 1つのファイルをリピート再生する。 All Clip Normal : フォルダ内の全ファイルを連続再生する。 All Clip Repeat : フォルダ内の全ファイルを連続リピート再生する。
	PLAYLIST/IN-OUT	プレイリスト再生、IN-OUT再生のオン/オフ	<b>Off</b> On (再生モードは「PLAY MODE」の設定による。)

グループ	項目	内容	設定値 / 設定項目
File List	SORT TYPE	ファイルのソートの条件	<b>Name</b> : ファイル名 Duration : ファイル長 Date Modified : 更新日 Format : フォーマット Resolution : 解像度 Frame Rate : フレームレート Type : ファイルのタイプ Size : ファイルのサイズ Date Created : 作成年月日 Start TC : ファイルの先頭のタイムコード Audio Codec : オーディオコーデック PlayList : プレイリスト In TC : IN 点のタイムコード Out TC : OUT 点のタイムコード I-Out Duration : IN、OUT 間のデュレーション
	SORT ORDER	ファイルのソートのしかた	<b>Ascending</b> : 昇順 Descending : 降順
TC/Character	DISPLAY CHARACTER	キャラクター表示の行数	<b>Off</b> 3 Lines 2 Lines
	CHARACTER TYPE	キャラクター表示領域の背景色	With Background Outline : 黒 <b>With Translucent Background</b> : 半透明 Outline : 黒縁白抜き文字 Without Background : 背景なし
	CHARACTER SDI/HDMI OUT	DISPLAY ボタンによる文字情報表示を、SDI/HDMI の出力にも重ねるかどうか。	<b>Off</b> : SDI/HDMI に表示しない。 SDI : SDI に表示する。 HDMI : HDMI に表示する。 SDI/HDMI : SDI/HDMI の両方に表示する。
Audio	CHARACTER AUDIO LEVEL METER	キャラクター 3行表示時、表示領域に音声レベルメーターを表示する機能のオン/オフ	<b>Off</b> On
	PHONE VOLUME	ヘッドホンからの音声出力のボリューム	<b>0</b> ~ 99

グループ	項目	内容	設定値 / 設定項目
Audio	AUDIO MONITOR SELECT	ヘッドホンからの音声出力のチャンネル	L : <b>CH1</b> - CH6 (MIX 可) R : CH1、 <b>CH2</b> - CH6 (MIX 可) (CH7 以上は選択できない)
	AUDIO MONITOR DELAY	ヘッドホンおよびアナログ出力のディレイを合わせる出力先の選択	<b>SDI</b> HDMI
	HDMI AUDIO CHANNEL	HDMI に多重する音声のチャンネル数の選択	<b>2ch</b> : 2 チャンネル 6ch : 6 チャンネル (8 チャンネルは出力できない)
Video	HDMI FORMAT LIMIT	HDMI のダウンコンバートの設定	<b>Auto</b> : モニターからの通信にしたがう。 4K : 4K までのフォーマットで出力する。 (PVM-X300 に出力する場合) QFHD : QFHD までのフォーマットで出力する。 HD : HD フォーマットで出力する。
	SDI FORMAT LIMIT	SDI のダウンコンバートの設定	<b>4K</b> : 制限を加えず、4K は 4K、HD は HD で出力する。 QFHD : QFHD に制限する。HD は HD で出力する。 HD (3G Single) HD (1.5G Single Link)
	SDI MODE (4K 50/60P)	4K/QFHD 60P/50P のファイル再生時における SDI の信号方式 (カッコ内はメニュー一覧時の省略表示)	2-Sample Interleave 3G Level A x4 (2SI 3G Level A x4) <b>2-Sample Interleave 3G Level B x4</b> ( <b>2SI 3G Level B x4</b> ) Square Division 3G Level A x4 (SQD 3G Level A x4) Square Division 3G Level B x4 (SQD 3G Level B x4)
	SDI MODE (4K UNDER 30P)	4K/QFHD 30P 以下のファイル再生時における SDI の信号方式 (カッコ内はメニュー一覧時の省略表示)	<b>2-Sample Interleave 3G Level B x2</b> ( <b>2SI 3G Level B x2</b> ) Square Division 3G Level B x2 (SQD 3G Level B x2) Square Division 1.5G x4: (SQD 1.5G x4)

グループ	項目	内容	設定値 / 設定項目
Video	SDI MODE (HD 50/60P)	メニュー画面や HD 60P/50P のファイル再生時における 3G SDI のデータマッピングのタイプ	3G Level A : 1.5G のみのフォーマットは 1.5G で出力する。 <b>3G Level B</b> : 1.5G のみのフォーマットは 1.5G で出力する。
	SDI P/PsF OUT	HD 30P 以下のファイル再生時における SDI の信号方式 (カッコ内はメニュー一覧時の省略表示)	<b>Progressive (P)</b> Progressive Segmented Frame (PsF)
Copy	COPY VERIFY	コピー時のベリファイ機能	Disable : 無効 <b>Enable</b> : 有効
Brightness	LCD BRIGHTNESS	LCD の輝度調整	1 ~ <b>8</b> ~ 15
	GRAPHIC BRIGHTNESS	リスト画面などの明るさ (再生画には影響しない。)	<b>Max</b> : 明るい High : やや明るい Middle : やや暗い Low : 暗い
Network	NETWORK CONNECTION	ネットワーク機能の有効 / 無効の選択	<b>Disable</b> : 無効 Enable : 有効
	NETWORK CONFIGURATION (TCP/IPv6)	IPv6 のアドレス設定	Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する。) IP address Subnet prefix length
	NETWORK CONFIGURATION (TCP/IPv4)	IPv4 のアドレス設定	Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する。) IP address Subnet prefix length
System	NETWORK PASSWORD	ネットワークからの接続時に使用するパスワードの設定	パスワード初期値は「pmw-pz1」
	FILE LISTING	XDROOT、BPAV、PDROOT、M4ROOT の構造フォルダ内をすべて表示するかどうかの設定	<b>Listing with Index(Quick)</b> : 有効なインデックスがある場合には、それに基づいて表示する。 Listing without Index(All Files) : 有効なデータがあっても通常の読み出しを行う。 (PDW-U2 接続時は無効)
	WARNING MESSAGE	発生中の警告メッセージを表示する。	—

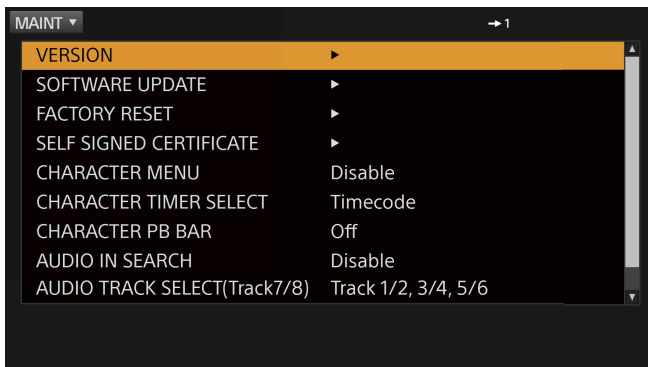


グループ	項目	内容	設定値 / 設定項目
System	TIME ZONE	UTC (協定世界時) からの時差	<b>00:00 UTC</b> - 12:00 ~ +13:00
	LOCAL DATE	年、月、日	Year, Month, Day <b>プリセットされている日時</b>
	LOCAL TIME	時間、分、秒	Hour, Minute, Second <b>プリセットされている日時</b>
	DC IN VOLTAGE ALARM	電源電圧が下降した際に警告を開始する値	11.0 ~ <b>11.9</b> ~ 15.0 V (0.1 V 間隔で設定可能)
	SETUP RESET	メニューの設定値をデフォルトに戻す。 (ただし、Time Zone、Local Date、Local Time は除く)	OK : 実行 <b>Cancel</b> : キャンセル
	VERSION	機種名 / シリアル番号、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョンの表示	-

項目	内容	表示 / 設定項目
SELF SIGNED CERTIFICATE	自己証明書の設定を行う。	<b>Default</b> Change common name IPv6 Change common name IPv4
CHARACTER MENU	キャラクター上でのメニュー機能を有効にする。	<b>Disable</b> : 無効 Enable : 有効
CHARACTER TIMER SELECT	キャラクター上に表示するタイムコードの設定	<b>Timecode</b> Timer
CHARACTER PB BAR	キャラクター上に現在の再生位置を表示する。	<b>Off</b> ON
AUDIO IN SEARCH	サーチ中に音声を出力する。	<b>Disable</b> : 無効 Enable : 有効
AUDIO TRACK SELECT	音声出力に対する 音声トラック 7、8 の設定。 (8トラックを同時に出力できない)	<b>Track1,2, 3,4, 5,6</b> Track1,2, 3,4, 7,8 Track1,2, 7,8, 5,6 Track7,8, 3,4, 5,6
MPEG 1440 × 1080 SIMPLE PB	MPEG 1440 × 1080 ファイルの簡易再生を行う。 (1440 → 1920 簡易フィルタ使用)	<b>Disable</b> : 無効 Enable : 有効

## MAINT メニュー

SHIFTボタンを押しながらMENUボタンを押すとMAINTメニューが表示され、以下のような各機能を有効にすることができます。



項目	内容	表示 / 設定項目
VERSION	各項目の詳細バージョンが表示される。	OK : ひとつ上の階層に戻る
SOFTWARE UPDATE	本機をバージョンアップする。	OK : 実行開始 Cancel : 未設定でひとつ上の階層に戻る。
FACTORY RESET	各設定をデフォルトに戻す。	OK : 実行 Cancel : キャンセル

# ネットワーク機能

本機とPC/タブレットなどをLANケーブルで接続することにより、ブラウザの画面で下記のような操作ができます。

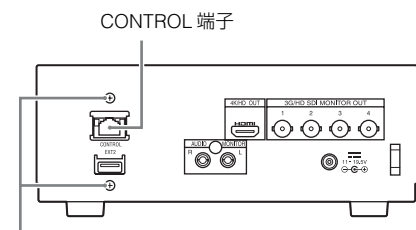
- リスト画面の基本操作
- メニューの設定変更 (ネットワーク関連項目を除く)
- ファイルの再生操作

## 接続する

本機後面のCONTROL端子をLANケーブルでPC/タブレットなどに接続します。

### ご注意

- 後面にカバーがある場合は、カバー取り付けネジを2本外してカバーを取り外してください。
- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをCONTROL端子に接続しないでください。
- CONTROL端子をご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。



カバー取り付けネジ

## ネットワークを設定する

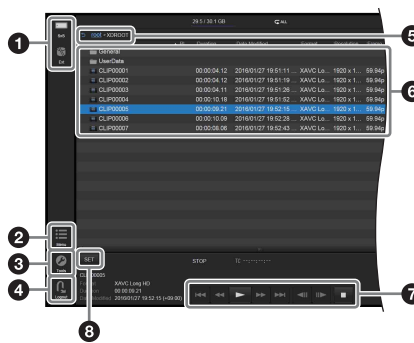
- 1 メニューの「**NETWORK CONNECTION**」を「**Enable**」に設定する。  
ネットワークが有効になります。
- 2 「**NETWORK CONFIG**」(TCP/IPv4)または(TCP/IPv6)から「**IP Address**」と「**Subnet prefix length**」の設定を行う。
  - IPアドレスの自動取得機能を使用するときは「Obtain IP address automatically」にチェックを入れる。
  - 手動で設定するときは「Obtain IP address automatically」のチェックを外し、「IP address」および「Subnet prefix length」を設定する。現在設定されているIP Addressの状態は、メニューの「**VERSION**」で確認できます。
- 3 「**OK**」を押す。  
ネットワークが設定されます。

## ブラウザから本機を操作する

推奨動作環境：Windows 7以降

推奨ブラウザ：Google Chrome

- 1 ブラウザを起動し、以下のアドレスにアクセスする。  
[https://\[IP ADDRESS\]/](https://[IP ADDRESS]/)
- 2 ログイン画面で以下のように入力する。  
(アクセスユーザー名：admin 初期パスワード：pmw-pz1)  
リスト画面がブラウザ上に表示されます。




## ブラウザ画面のアイコンと操作

番号	表示	マウス操作
1	SxS、EXT	クリックすると再生対象メディアが切り換わる。本機前面のPLAYBACK SxS/EXTボタンと同等。
2	MENU	クリックするとメニューが表示される。本機前面のMENUボタンと同等。
3	Tools	クリックすると下記が選択できるようになる。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Upload：本機に接続している外部ストレージ(HDD、SSD)のルートフォルダにPCのファイルをアップロードする(ODA、PDを除く)。</li><li>• Refresh：ファイルを再読み込みする。</li><li>• About PMW-PZ1 Controller：本機の情報を表示する。</li></ul>
4	Logout	クリックでログアウトする。
5	フォルダパス	上位階層をクリックすると、そのフォルダに移動する。
6	ファイルリスト	ダブルクリックすると対象ファイルが再生される。またはフォルダの内容が表示される。
7	コントロールボタン	ファイル再生時にクリックし、走行をコントロールする。
8	SET ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>• ファイル再生中以外：フォルダを選択してクリックすると、そのフォルダに移動する。ファイルを選択してクリックすると、再生が開始し、先頭で一時的に停止する。</li><li>• ファイル再生中：ファイルを選択してクリックすると、再生が開始される。</li></ul>

(ファイル再生中は、コントロールボタン系とSETボタン以外は操作できません。)

### ご注意

- ファイルのアップロード中に再生を行うと、UNDERFLOW（再生ファイルの読み出しが間に合わない状態）が生じるおそれがあります。キャラクター表示領域にアップロード中を示すアイコン（)が表示されている場合は、アップロードが終了してから再生を行ってください。
- ブラウザではサムネイルは表示されません。
- ブラウザからの操作と本体のボタン操作を同時に行わないでください。
- 2台以上のブラウザを接続しないでください。
- SxS から EXT へのコピーは、ブラウザから行うことはできません。
- ネットワーク関連など、ブラウザから設定できないメニュー項目があります。
- ファイルのアップロード中にエラーが表示された場合は、ファイル名を変更してアップロードし直してください。

## ネットワークパスワードを変更する

ブラウザからネットワークにログオンするためのパスワードは、以下の手順で変更することができます。

- 1 メニューの**NETWORK PASSWORD**で「**New Password**」を選択する。  
PUSH SETダイヤルを回して文字を選択し、「SET」を押すと1文字入力されます。  
これを繰り返してパスワードを設定します。
- 2 「**Confirm Password**」の欄も同様に設定する。
- 3 「**OK**」を押す。  
パスワードが設定されます。

### ご注意

アクセスユーザー名「admin」は変更できません。

## その他の機能

### PDW-U2のファイルプレビュー

PDW-U2にあるプロフェッショナル・ディスクのファイルをプレビューできます。

- 1 本機のEXT端子とPDW-U2をUSB3.0ケーブルで接続する。  
リスト画面で「EXT」を選択すると、PDW-U2のファイルリストが表示されます。
- 2 プレビューしたいファイルを選んでPLAY/PAUSEボタンを押す。

### 本機でプレビューできるファイル

巻末の表で以下の項目を参照してください

- XDCAM MPEG HD422
- XDCAM MPEG HD420

### ご注意

- PDW-U2 へのファイルコピーはできません。
- プレビュー開始までに時間がかかることがあります。
- UNDERFLOW が発生することがあります。
- 素早い操作に追従できないことがあります。

### ODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280U へのファイルコピー

SxSメモリーカードのファイルをODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280Uにコピーできます。

本機のEXT端子とODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280UをUSB3.0ケーブルで接続すると、コピー画面でコピー先として表示されます。

一括コピーまたはファイル選択コピーが可能です。

### ご注意

- ODS-D77U/ODS-D55U/ODS-D280Uのファイルを本機でプレビューすることはできません。
- ブラウザからのアップロードはできません。
- ODA カートリッジの最大ファイル数は1巻あたり30000ファイルです。

### ダウンコンバート機能

下記のメニューで出力の上限フォーマットを設定できます。

- HDMI FORMAT LIMIT
- SDI FORMAT LIMIT

上限を超えるフォーマットはダウンコンバートされて出力されます。

本機のダウンコンバート処理は近傍画素（最大8点）の単純平均で計算されます。

#### ご注意

- 4K（QFHD を除く）から HD へのダウンコンバートの場合、左右の端がカットされます。
- PVM-X300 と本機を HDMI 接続するときは、メニューの「HDMI FORMAT LIMIT」を「4K」に設定してください。
- 4K 59.94P/50P のファイルを HD にダウンコンバートする場合、HDMI 端子からは HD 59.94P/50P で出力されます。

---

## XDCAM Station でリニア編集した SSD の再生

XDS-PD2000 でリニア編集したPSZ-SA25/SA48 の再生に対応しています。

---

## 使用上のご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

ファン、電池は有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）

したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

# メッセージとアイコン一覧

## 警告メッセージ

ID	メッセージ	状況	対処方法
W101	Low voltage	DC IN 電圧低下	電源電圧の確認を行う。
W102	Backup Battery Low	バックアップ電池の残量不足	ソニーのサービス担当者に電池の交換を依頼する。
W103	Backup Battery End	バックアップ電池が残量なし	
W201	Fan Stopped	ファン停止	ファンを交換する。
W202	High temperature	内部温度上昇	風通し、吸排気口を確認する。
W301	Restore SxS Card	SxS 異常、修復が必要	PC でストレージのエラーチェックを行う。
W302	Restore EXT Device	EXT 異常、修復が必要	
W304	Not SuperSpeed USB	EXT 接続が USB3.0 ではない	端子、接続、ストレージを確認する。
W401	SxS Underflow	SxS Underflow 発生	転送レートの速いストレージを使用する。
W402	EXT Underflow	EXT Underflow 発生	
W802	Set LOCAL DATE/TIME	Local Date/Time 不整合	メニューで日時を再設定する。

## アイコンについて

アイコン	意味	
	リスト画面 / サムネイル画面	再生時のキャラクター表示領域
	警告が発生している。 「警告メッセージ」(21 ページ) をご覧ください。	
	メニュー「PLAY MODE」の設定が「Single Clip Normal」	
	メニュー「PLAY MODE」の設定が「Single Clip Repeat」	
	メニュー「PLAY MODE」の設定が「All Clip Normal」	
	メニュー「PLAY MODE」の設定が「All Clip Repeat」	
	「PLAYLIST/IN-OUT」が「ON」に設定されている	STOP+PLAY/PAUSE ボタンでプレイリスト再生 / IN 点 - OUT 点区間再生が実行されている。
	ファイルのアップロードが実行されている。	

# 仕様

## 一般

### 電源

DC 11 V ~ 19.5 V

### 消費電力

約 30 W (4K XAVC Intra 60P 再生時)

約 35 W (SxS メモリーカードから外部ストレージへのコピー実行時)

### 動作温度

5 °C ~ 40 °C

### 保存温度

- 20 °C ~ +55 °C

### 外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き) (概算値)

約 212 × 84 × 200 mm (突起物含まず、足含む)

### 質量

約 2.3 kg

## ファイルシステム

SxS、XQD : exFAT、SxS UDF、FAT32

外部ストレージ : exFAT、NTFS

## 再生フォーマット (ビデオ)

「再生可能フォーマット」(23 ページ) をご覧ください。

## 再生フォーマット (オーディオ)

リニア PCM 24 ビット 48 kHz

4 チャンネル / 最大 6 チャンネル

## メディアドライブ

メディアタイプ : SxS メモリーカード (ExpressCard/34) スロット (1)

## 入出力端子

3G/HD-SDI モニター出力

BNC (4)、3G-SDI/HD-SDI

SMPTE ST 424/425 Level A/B、SMPTE ST 292M standards

常時 4:2:2 10bit (4K 50P/60P 含む)

HDMI 4K/HD 出力

Type A 19 ピン (1) 出力

4K 30P 以下は 4:2:2 10bit

4K 50P/60P は 4:2:0 8bit

アナログオーディオ出力

ピンジャック (L、R)、- 11 dBu (リファレンスレベル)

ヘッドホン出力

ステレオミニジャック (1)

マウス端子

USB マウス Basic Optical Mouse (Microsoft) 対応 (1)

外部ストレージ端子

USB3.0 ストレージ USM128GQX、PSZ-SA25、PSZ-SA48 (Sony) 対応

前面 (1)、後面 (1)

(前面と後面の同時使用は不可)

CONTROL 端子

1000 Base-T イーサネット (1)

## DC 入力

DC ジャック、11 V ~ 19.5 V

## その他機能

### ディスプレイ

3.5 型カラー LCD モニター：960 (H) × 3 (RGB) × 540 (V)、  
16:9

## 付属品

AC アダプター (19.5 V (AC コード別売り))

ご使用になる前に (1)

取扱説明書 (CD-ROM) (1)

## 別売りアクセサリ

AC アダプター AC-DN10

XQD ExpressCard アダプター QDA-EX1

XLR (4 ピン) - DC 変換ケーブル

(サービスパーツ番号：1-849-004-xx)

電源コード (サービスパーツ番号：1-792-549-1x)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

- SxS、SxS PRO はソニー株式会社の商標です。
- ExpressCard ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。
- “XAVC” および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

# 付録

## 推奨メディアについて (XQD メモリーカード)

Yes：推奨メディア

No：保証しない

Format			XQD G	XQD N	旧 XQD
			XQD S (EB Stream)		XQD H XQD S (non EB Stream)
			32/64/128 GB	32/64 GB	16/32/64 GB
XAVC-I	4096x2160	59.94P	Yes	No	No
		50P	Yes	No	No
		29.97P	Yes	No	No
		25P	Yes	No	No
	3840x2160	23.98P	Yes	No	No
		59.94P	Yes	No	No
		50P	Yes	No	No
		29.97P	Yes	No	No
	1920x1080	25P	Yes	No	No
		23.98P	Yes	No	No
		59.94P	Yes	No	No
		50P	Yes	No	No
	29.97P	Yes	Yes	No	
	25P	Yes	Yes	No	
	23.98P	Yes	Yes	No	
	59.94P	Yes	Yes	No	
XAVC-L	3840x2160	59.94P	Yes	Yes	No
		50P	Yes	Yes	No
		29.97P	Yes	Yes	No
		25P	Yes	Yes	No
	1920x1080	23.98P	Yes	Yes	No
		59.94P	Yes	Yes	Yes
		50P	Yes	Yes	Yes
		29.97P	Yes	Yes	Yes
		25P	Yes	Yes	Yes
		23.98P	Yes	Yes	Yes

## 再生可能フォーマット

✓: 再生可能

<b>4K (4096 × 2160)</b>	<b>59.94P</b>	<b>50P</b>	<b>29.97P</b>	<b>25P</b>	<b>24P</b>	<b>23.98P</b>
XAVC Intra 4K (.MXF) Class 480	—	—	✓	✓	✓	✓
XAVC Intra 4K (.MXF) Class 300	✓	✓	✓	✓	✓	✓

<b>QFHD (3840 × 2160)</b>	<b>59.94P</b>	<b>50P</b>	<b>29.97P</b>	<b>25P</b>	<b>23.98P</b>
XAVC Intra QFHD (.MXF) Class 480	—	—	✓	✓	✓
XAVC Intra QFHD (.MXF) Class 300	✓	✓	✓	✓	✓
XAVC Long QFHD (.MXF)	✓	✓	✓	✓	✓
XAVC S QFHD (.MP4)	✓	✓	✓	✓	✓

<b>Full HD (1920 × 1080)</b>	<b>59.94P</b>	<b>50P</b>	<b>29.97P</b>	<b>25P</b>	<b>23.98P</b>	<b>59.94i</b>	<b>50i</b>
XAVC Intra HD (.MXF) (Class 100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
XAVC Long HD (.MXF)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
XAVC S HD (.MP4)	✓	✓	✓	✓	✓	—	—
XDCAM MPEG HD 422 (.MXF)	—	—	✓	✓	✓	✓	✓
XDCAM MPEG HD 420 (.MXF)	—	—	✓	✓	✓	✓	✓
XDCAM EX MPEG HD 420 (.MP4)	—	—	✓	✓	✓	✓	✓

<b>HD 1440 (1440 × 1080) Simple Playback</b>	<b>59.94P</b>	<b>50P</b>	<b>29.97P</b>	<b>25P</b>	<b>23.98P</b>	<b>59.94i</b>	<b>50i</b>
XDCAM MPEG HD 420 (.MXF)	—	—	✓	✓	✓	✓	✓
XDCAM EX MPEG HD 420 (.MP4)	—	—	✓	✓	✓	✓	✓

<b>720P (1280 × 720)</b>	<b>59.94P</b>	<b>50P</b>
XAVC Intra HD (.MXF)	✓	✓
XAVC Long HD (.MXF)	✓	✓
XDCAM MPEG HD 422 (.MXF)	✓	✓
XDCAM MPEG HD 420 (.MXF)	✓	✓
XDCAM EX MPEG HD 420 (.MP4)	✓	✓

# ライセンス表記について

## MPEG-4 Visual Patent Portfolio License について

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseの下、次の用途に限りライセンスされており、その他の用途に関してはライセンスされていません。

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG-4 Videoといいます）にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、もしくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

プロモーション、営利目的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページ <<http://www.mpegla.com>>を参照してください。

MPEG LAは、(i) MPEG-4 Visualビデオ情報を記録した媒体（PACKAGED MEDIA）を製造し、販売する行為、(ii) MPEG-4 Visualビデオ情報を何らかの方法（オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV放送など）で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。その他の使用方法につきましても、MPEG LAからのライセンス取得が必要な場合があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。  
MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300,  
DENVER, COLORADO 80206  
ホームページ：<http://www.mpegla.com>

## MPEG-2 Video Patent Portfolio License について

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品を、パッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。

尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売・頒布される MPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造・販売・頒布する業者は、MPEG LAからライセンス取得する必要があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。  
MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300,  
DENVER, COLORADO 80206

ホームページ：<http://www.mpegla.com>

## EULA (End User License Agreement) について

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダ内の各ドキュメントをご覧ください。

- ソフトウェアライセンス：「License」フォルダ> 「License1.pdf」
- Microsoft社：「License」フォルダ> 「License2.pdf」
- McAfee社：「License」フォルダ> 「License3.pdf」

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>